

# 2013年(平成25年)10月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

# 留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『IR情報/IR資料室：決算説明資料等』に掲載します。

URL <http://www.softs.co.jp/ir/financial/setumei.html>

このプレゼンテーション資料には、2014年1月8日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

# アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 平成25年10月期(H24.11-H25.10)の状況
4. 今後の戦略
5. 平成26年10月期の業績見通し
6. 質疑応答



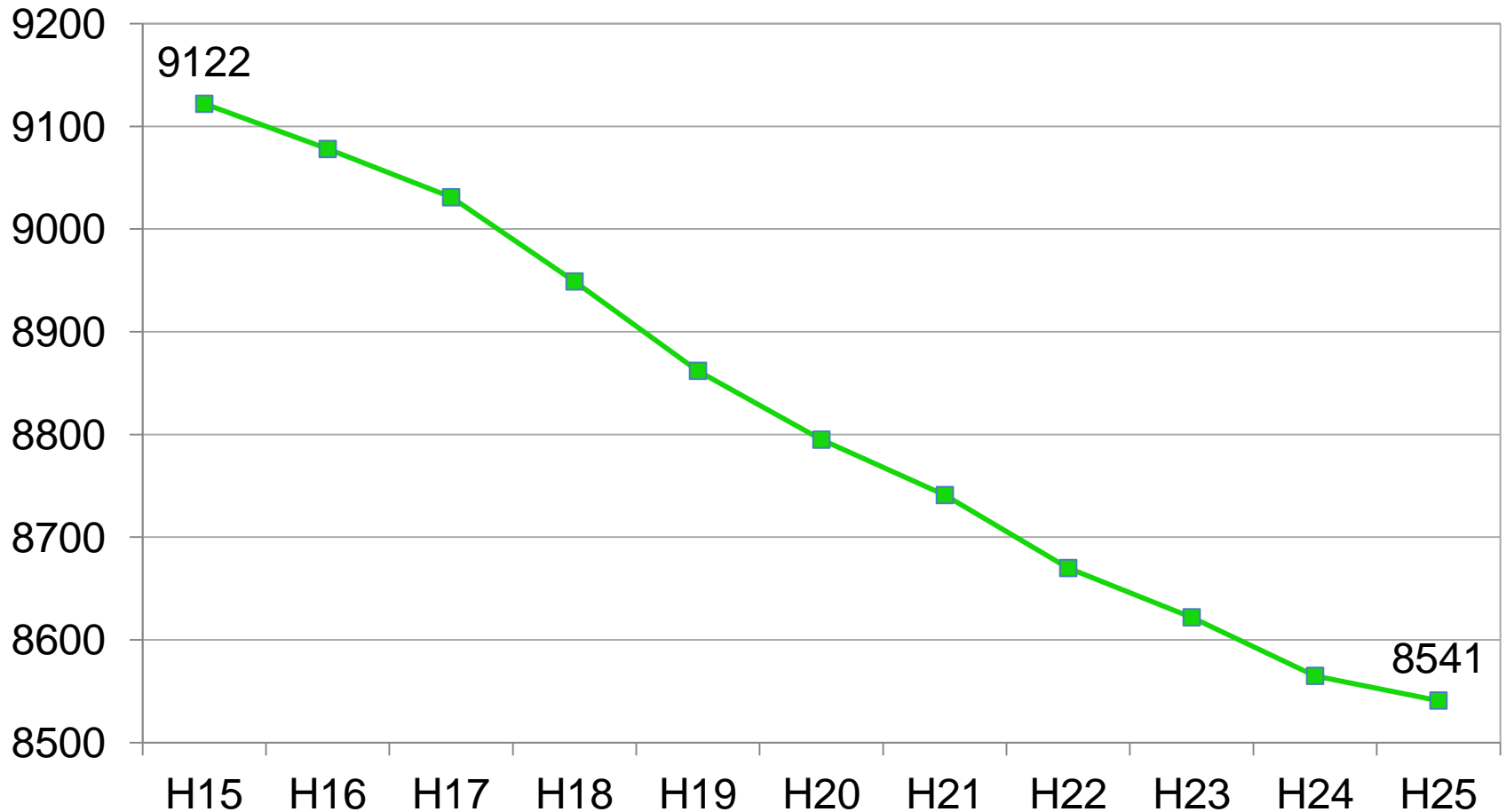
# 1. 会社紹介

# 会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原1-7-38  
本社：大阪市淀川区宮原4-2-30（平成20年5月19日移転）
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 760名（平成25年10月31日現在）
- 資本金 847百万円（ジャスダック上場・平成16年2月20日）
- 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 388ユーザー <うち電子カルテユーザー：322 >（H25.10現在）
- 企業ポリシー ①専門特化  
②創造価値  
③自主独立  
⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

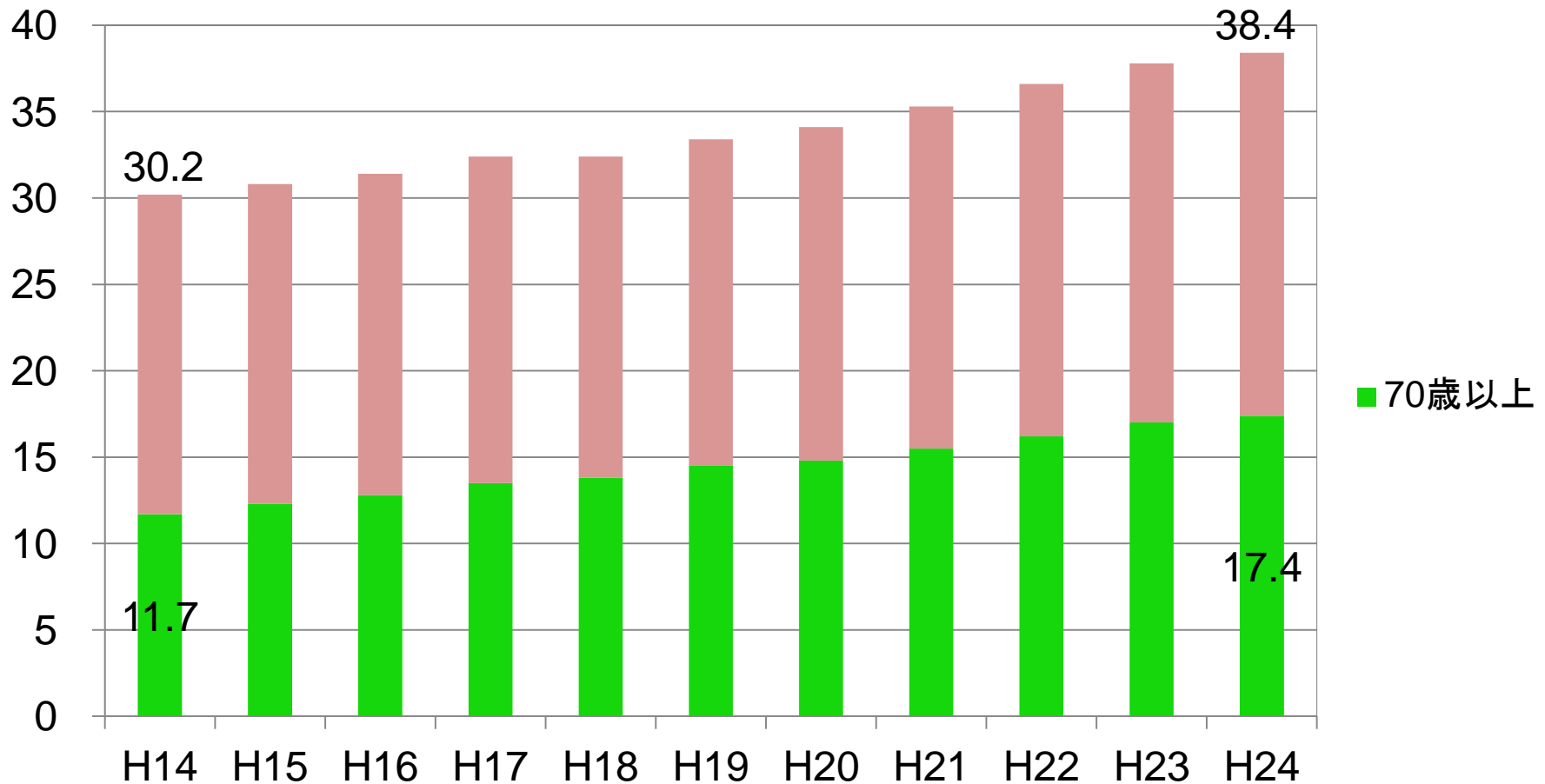
## 2. 業界動向

# 病院施設数の推移



(厚生労働省 医療施設調査:平成15年9月～平成25年9月)

# 概算医療費の推移



(厚生労働省 概算医療費データベース:平成14年～平成24年)



# 増大する医療費

## ■ 2012年度の概算医療費

⇒ 2012年度の概算医療費が、前年度比3.1%増の38兆4000億円となった。増加は10年連続で、過去最高。

⇒ 70歳以上の医療費は、全体の45.4%。

※国民が1年間に使った医療費の総額を示す国民医療費から全額自己負担分等を差し引いたもの。国民医療費の98%程度とされ、国民医療費の発表より1年早く、速報値とされる。

# 社会保障制度改革国民会議

- すべての世代に安心感と納得感が得られる全世代型の社会保障を目指す。
  - ⇒ 公費は最小で。所得に応じた負担を。
  - ⇒ 団塊の世代がすべて75歳以上となる、2025(平成37)年を念頭に段階的に実施。
- 去年12月の国会でプログラム法が成立
  - ⇒ 70~74歳の自己負担を1割から2割に。

# 2014年度診療報酬改定

- 3回連続の増額改定となった。
- 消費増税への対応分を含めて、薬価でマイナス0.63%、診療報酬本体部分(医師の技術料等)でプラス0.73%。  
⇒結果、診療報酬総額でプラス0.1%となる。

# 業界状況(1)

## ■ 医療機関のIT化

- ・高齡化等に伴う医療費の増大、財政の悪化を受けて、医療の効率化・コスト削減は必須である。
- ・医療費削減のためには、ITを活用した「検査等の重複の削減」と、「予防医療(病診連携等によるスムーズな受診やEHR=電子健康記録の活用)」が今後重要であり、そのためには医療機関のIT化は避けては通れないものである。

## 業界状況(2)

### ■ 電子カルテの普及状況

- ・電子カルテの導入数は、1797病院。  
普及率は21%。当社シェアは約18%。

⇒医療機関においては、電子化のニーズはより高まっている。診療報酬のプラス改定が続き経営は堅調に推移している。また医療機関同士の連携意識の高まり、および病院の建替え需要などから、引合いは増えている状況である。

(数値は「月刊新医療 電子カルテ&PACS白書2013~2014」より)

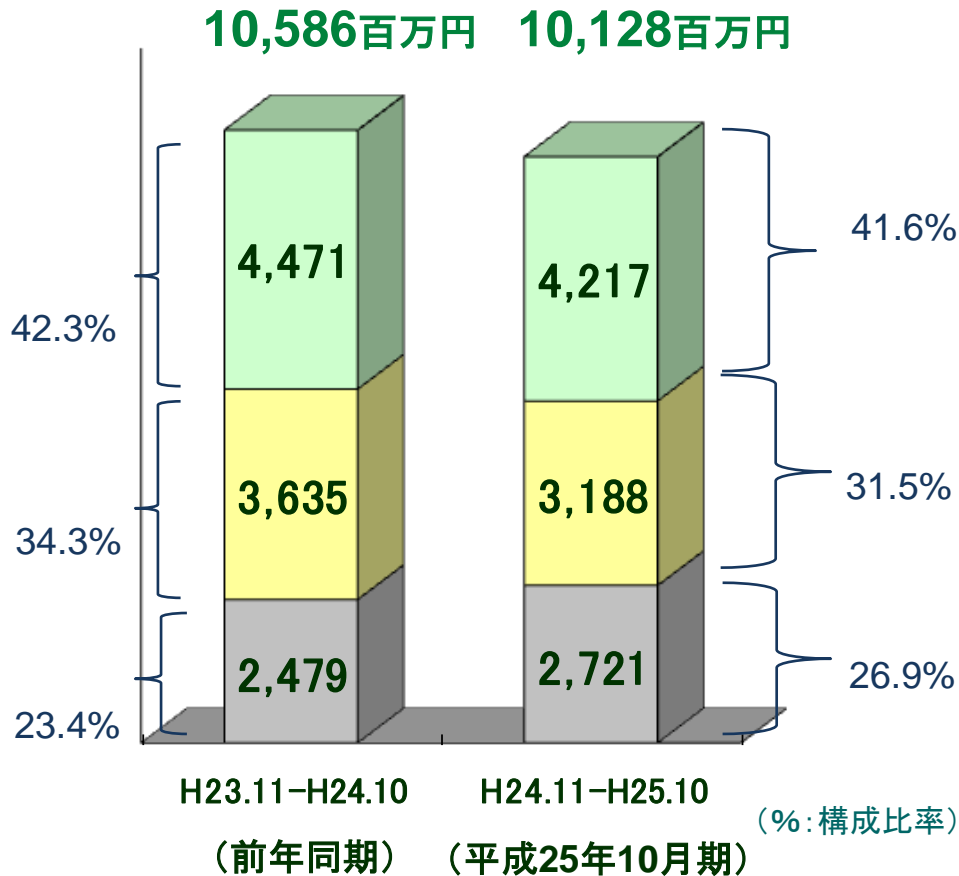
### 3. 平成25年10月期(H24.11-H25.10)の状況

# 業績の概要（前年同期比較）

【単位：百万円】

	H23.11-H24.10 (前年同期)		H24.11-H25.10 (平成25年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	10,586	100.0%	<b>10,128</b>	100.0%	▲4.3%
売上総利益	3,195	30.2%	<b>3,176</b>	31.4%	▲0.6%
営業利益	2,426	22.9%	<b>2,337</b>	23.1%	▲3.6%
経常利益	2,438	23.0%	<b>2,393</b>	23.6%	▲1.8%
当期純利益	1,398	13.2%	<b>1,482</b>	14.6%	+6.1%

# 売上高構成比(前年同期比較)



## 【総売上高】

▲457百万円減 (▲4.3%)

### ソフトウェア売上高

▲253百万円減 (▲5.7%)

### ハードウェア売上高

▲446百万円減 (▲12.3%)

### 保守売上高

242百万円増 (+9.8%)

注: ( )内は増減率



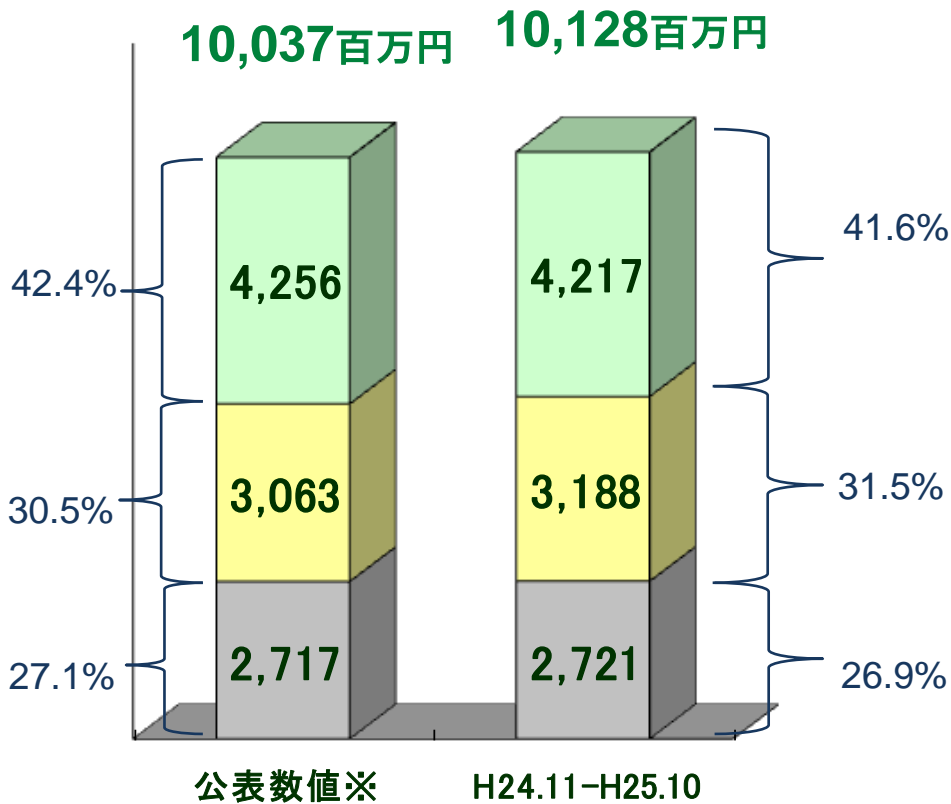
# 業績の概要（公表数値比較）

【単位：百万円】

	公表数値(※)		H24.11－H25.10 (平成25年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	10,037	100.0%	<b>10,128</b>	100.0%	+0.9%
売上総利益	2,973	29.6%	<b>3,176</b>	31.4%	+6.8%
営業利益	2,074	20.7%	<b>2,337</b>	23.1%	+12.7%
経常利益	2,097	20.9%	<b>2,393</b>	23.6%	+14.2%
当期純利益	1,300	13.0%	<b>1,482</b>	14.6%	+14.1%

※ 平成25年8月16日公表

# 売上高構成比(公表数値比較)



## 【総売上高】

91百万円 増 (+0.9%)

### ソフトウェア売上高

▲38百万円 減 (▲0.9%)

### ハードウェア売上高

125百万円 増 (+4.1%)

### 保守売上高

4百万円 増 (+0.2%)

注:( )内は増減率

公表数値※ H24.11-H25.10 (%:構成比率)  
※ 平成25年8月16日公表 (平成25年10月期)

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	11月	古河病院(徳洲会グループ)	234	導入済	●
2	11月	すずかけセントラル病院	309	●	●
3	12月	玄々堂君津病院	160	●	●
4	12月	善衆会病院	198	●	●
5	1月	宝陽病院	192	●	●
6	2月	非公開	45	●	●
7	2月	大和高田市立病院(公的)	320	●	●
8	2月	南風病院	338	●	●
9	2月	山口労災病院(公的)	313	●	●(同年8月)
10	3月	釧路協立病院	184	●	●

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
11	3月	高砂西部病院(徳洲会グループ)	199	導入済	●
12	4月	非公開	171	医事会計のみ	—
13	4月	遠山病院	197	導入済	●
14	4月	仙台徳洲会病院(徳洲会グループ)	315	導入済	●
15	4月	吉島病院(準公的)	219	●	●
16	4月	HITO病院	257	●	●
17	4月	熊谷総合病院(公的)	313	●	●
18	4月	藤元総合病院	347	●	●
19	4月	藤元病院	414	●	●
20	4月	川久保病院	120	●	●

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
21	5月	共愛会病院(徳洲会グループ)	378	導入済	●
22	5月	孝仁病院	180	●	●
23	6月	非公開	256	医事会計のみ	—
24	6月	非公開	136	医事会計のみ	—
25	6月	重井医学研究所附属病院	198	●	●
26	7月	非公開	147	医事会計のみ	—
27	7月	非公開	224	医事会計のみ	—
28	7月	徳之島徳洲会病院(徳洲会グループ)	199	導入済	●
29	7月	非公開	196	●	●
30	7月	西奈良中央病院	166	●	●

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
31	7月	総合せき損センター(公的)	150	●	●
32	8月	非公開	302	医事会計のみ	—
33	8月	非公開	195	医事会計のみ	—
34	8月	第二協立病院	225	導入済	●
35	8月	杉並リハビリテーション病院(上尾中央医科グループ)	101	●	●
36	8月	鶴谷病院	320	●	●
37	9月	非公開	130	医事会計のみ	—
38	9月	非公開	441	医事会計のみ	—
39	9月	シムラ病院	116	導入済	●
40	9月	非公開	110	導入済	●

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
41	9月	名瀬徳洲会病院(徳洲会グループ)	255	導入済	●
42	9月	金町中央病院	99	●	●
43	9月	菊野病院	150	●	●
44	9月	早良病院	154	●	●
45	9月	躰生会脳神経外科病院	305	●	●
46	9月	非公開	308	●	●
47	10月	非公開	50	医事会計のみ	—
48	10月	非公開	186	医事会計のみ	—
49	10月	非公開	150	導入済	●
50	10月	秋山脳神経外科・内科病院	41	●	—

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
51	10月	与論徳洲会病院(徳洲会グループ)	81	●	●
52	10月	神戸アドベンチスト病院	116	●	●
53	10月	南ヶ丘病院	120	●	●
54	10月	沖縄第一病院	154	●	●
55	10月	静仁会静内病院(徳洲会グループ)	199	●	●
56	10月	非公開	450	●	●

診療所・クリニックはプロジェクトとしてカウントしておりません。

<グループ病院の累計数> 平成25年10月末現在  
 徳洲会グループ: 49病院(全67病院)  
 セコムグループ: 8病院(全18病院)



## 4. 今後の戦略

# 新本社ビル完成予想図 (今年7月末竣工予定)



# 今後の戦略 <新本社ビル建設>

## ■ 新拠点設置 ～持続的な成長に向けて～ 「新本社ビル概要」

⇒現在の2拠点を集約し、生産性をアップ。

- ・現在の本社ビルより、西へ300m。
- ・1500名収容。
- ・免震構造の9階建。延床面積約13500㎡。
- ・病院データを預かるバックアップセンターを設置。
- ・今年7月末完成予定。

# 今後の戦略 <現本社ビル売却>

- 現在の本社ビルは売却を決定。  
⇒ 売買契約締結済。
- ・ 今年9月上旬に引き渡し予定。
- ・ 固定資産売却益を計上見通し。
- ・ キャッシュフローも大幅に増加する。

# 今後の戦略 <サービス面>

## ■データバックアップセンターを開設

⇒最新鋭の免震構造の新本社ビル内に設置。

- ・弊社医療情報システム内のデータをリアルタイムに複製保存。
- ・入退室管理システムや監視カメラ等にて、高度なセキュリティ環境を実現し、安全に管理。
- ・ISO27001を取得予定。

# 今後の戦略 <システム面>

## ■ 専門特化の強みを活かした製品ラインアップ

1. 新システム開発およびバージョンアップ

2. 「新規開発室」を設置。

⇒ 財務会計システム・人事給与システム等  
病院経営に寄与するシステム開発強化。

3. 地域医療連携への取組も強化。

# 今後の戦略 <ユーザーリプレイス>

## ■ 計画的なユーザーリプレイスを展開

「前期組織改編により顧客導入部を設置」

⇒2年先まで、ユーザーリプレイス枠は埋まった。

=既存ユーザー病院から、システムおよび対応を高く評価してもらっている。

⇒今後もさらにリプレイスを加速していく。

# 今後の戦略 <人事面>

## 経営戦略に適合した人材採用・育成計画

計画的な人材採用（新卒100名強＋キャリア）

2013年4月 119名入社    2014年4月 140名入社予定

## 生産性を高めるための取組み

総額人件費管理にてコストコントロール。

スキルマップの作成による能力開発設計。外部研修強化。



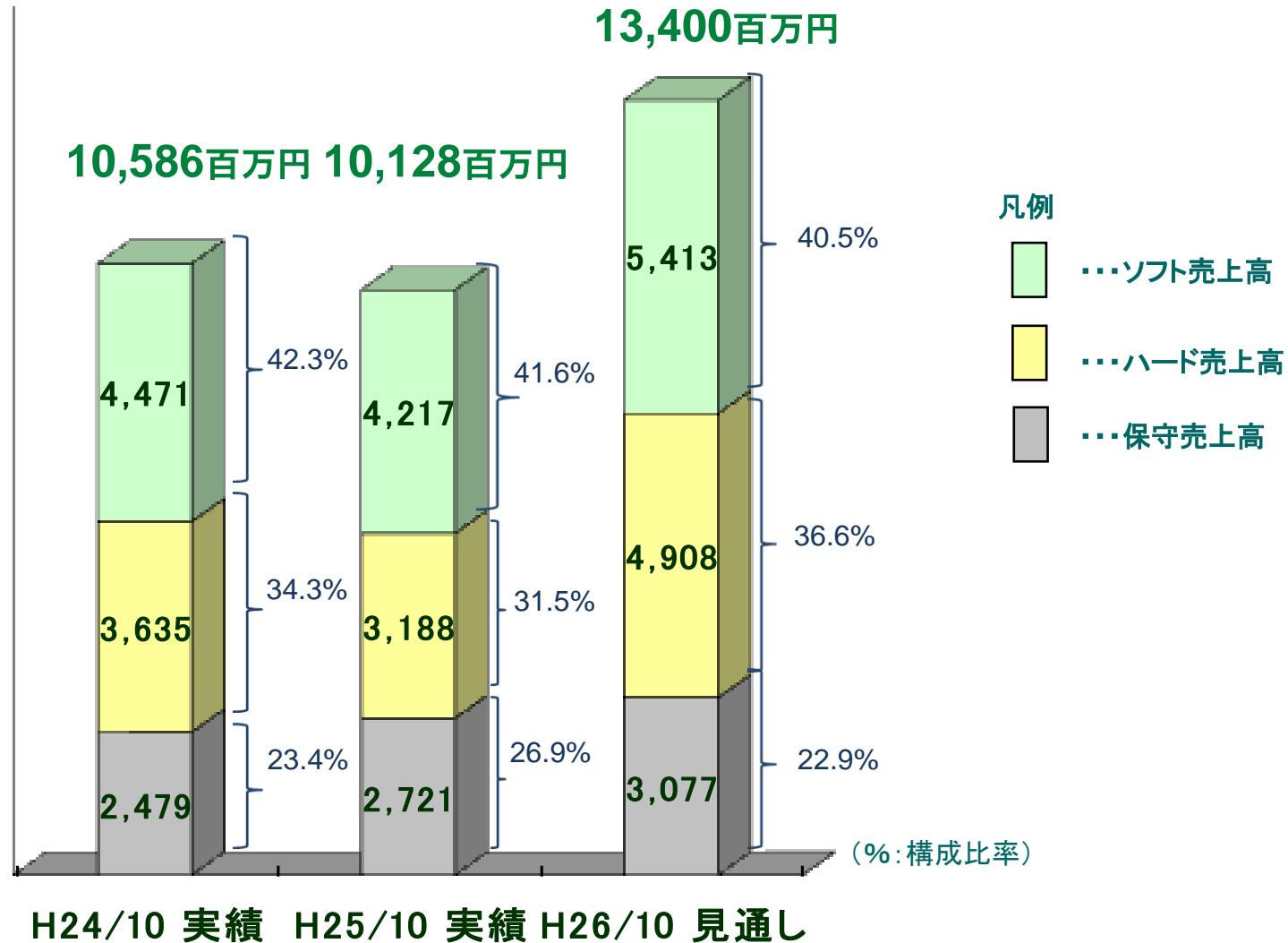
## 5. 平成26年10月期の業績見通し

# 業績の概要（実績及び見通し）

【単位：百万円】

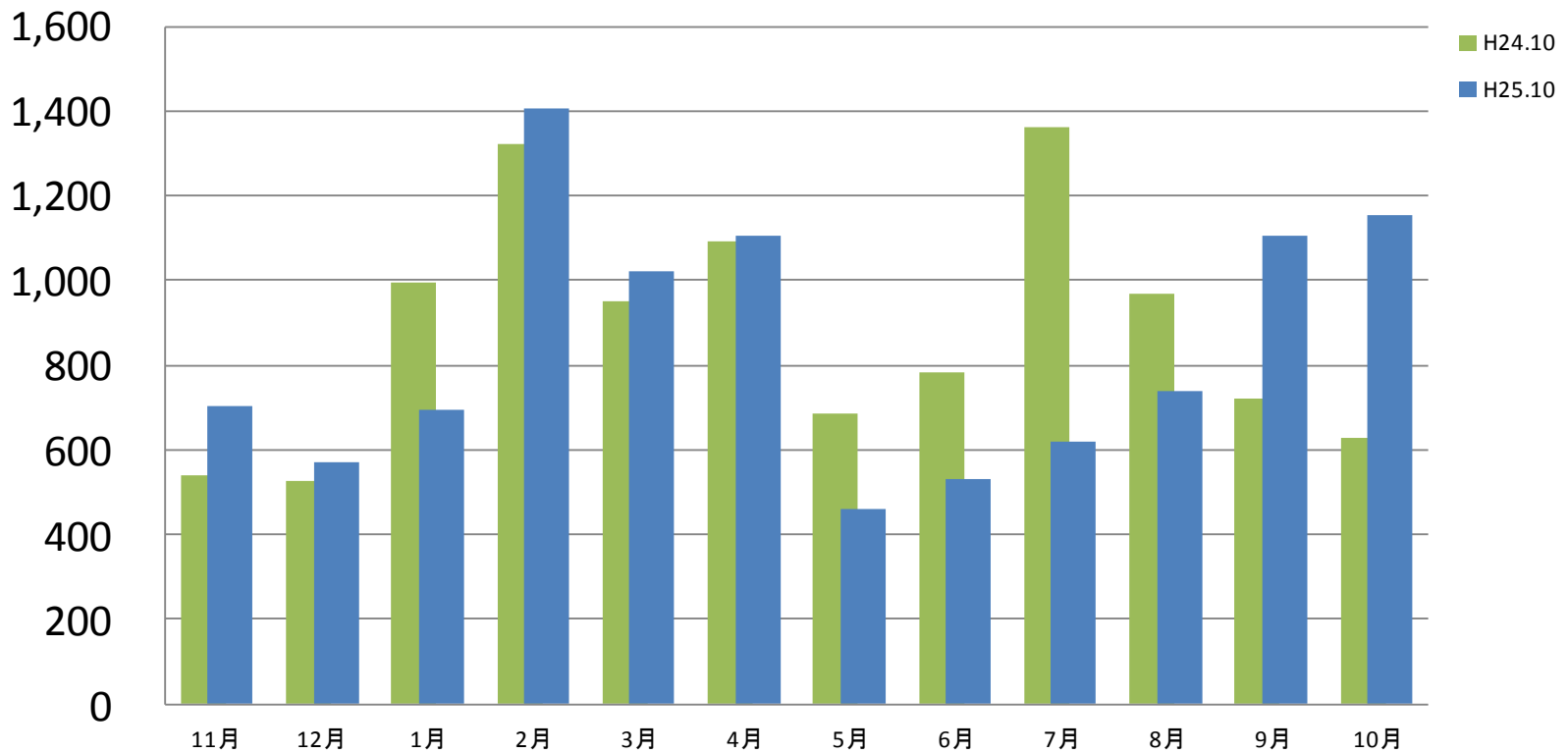
	H24/10 実績		H25/10 実績		H26/10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	10,586	100.0%	10,128	100.0%	<b>13,400</b>	100.0%
売上総利益	3,195	30.2%	3,176	31.4%	<b>3,320</b>	24.8%
営業利益	2,426	22.9%	2,337	23.1%	<b>2,350</b>	17.5%
経常利益	2,438	23.0%	2,393	23.6%	<b>2,400</b>	17.9%
当期純利益	1,398	13.2%	1,482	14.6%	<b>1,488</b>	11.1%
1株当たり 当期純利益	<b>264円09銭</b>	—	<b>280円49銭</b>	—	<b>281円45銭</b>	—

# 売上高構成比



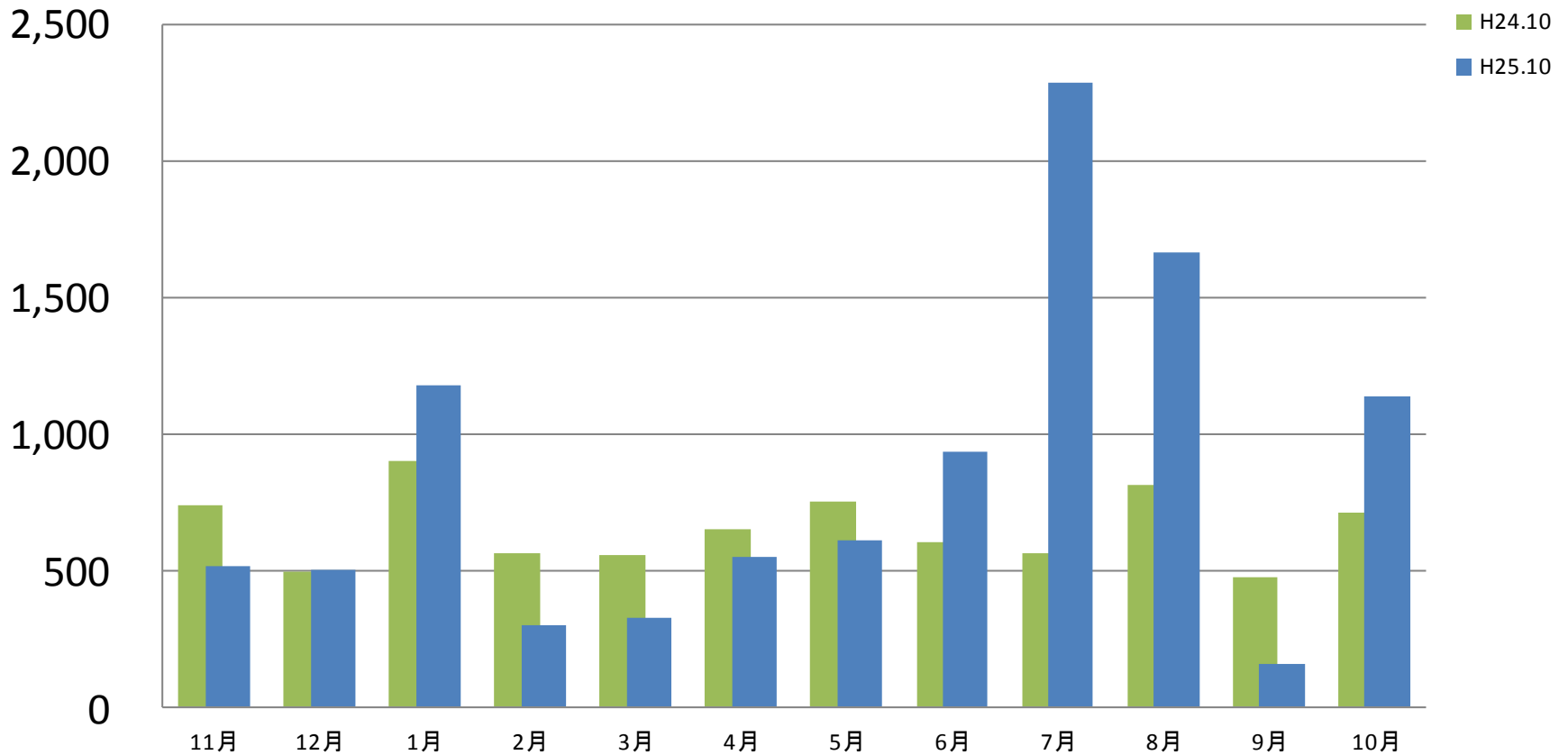
# 売上高の月次推移

【単位：百万円】



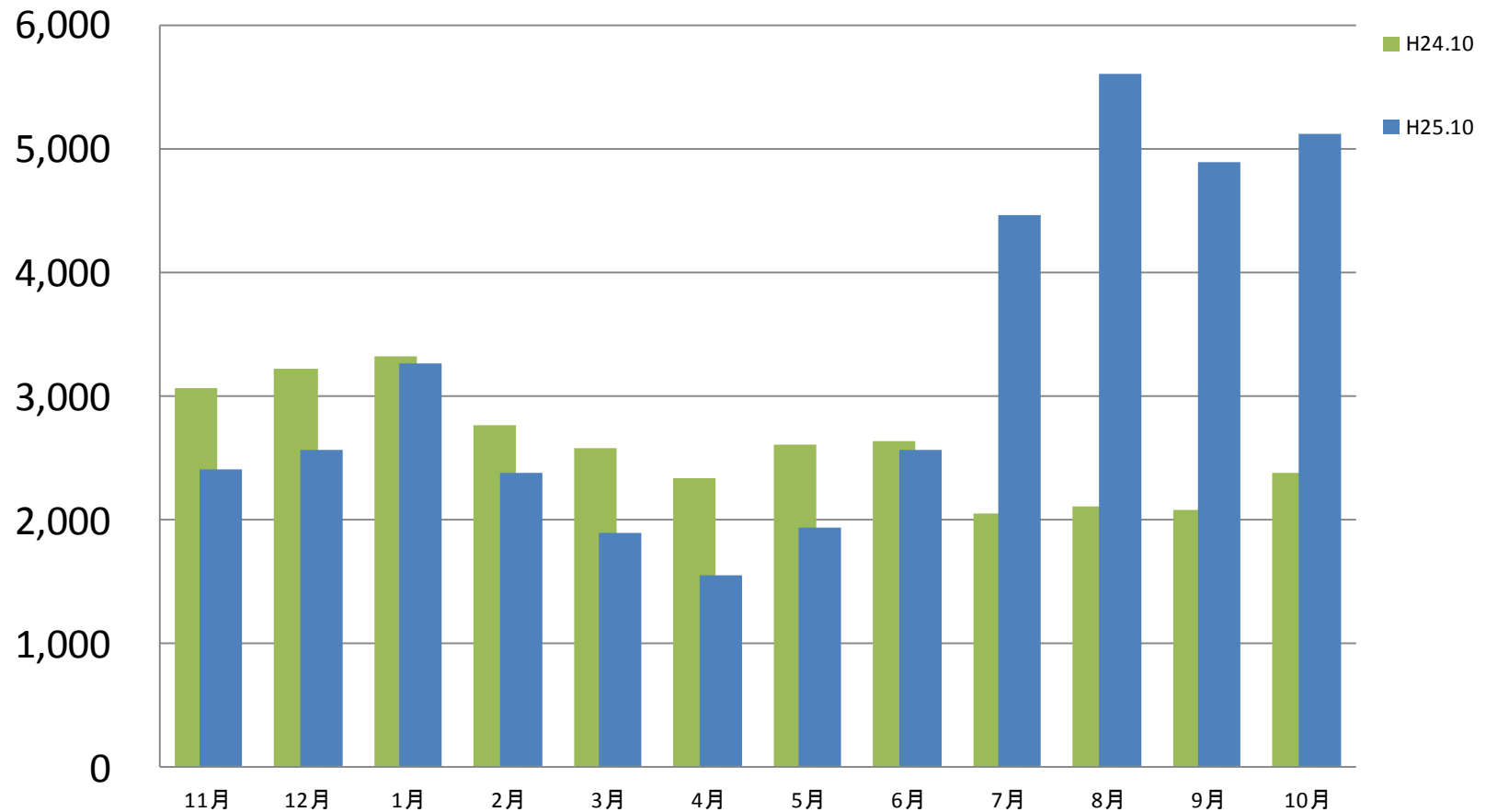
# 受注高の月次推移

【単位:百万円】



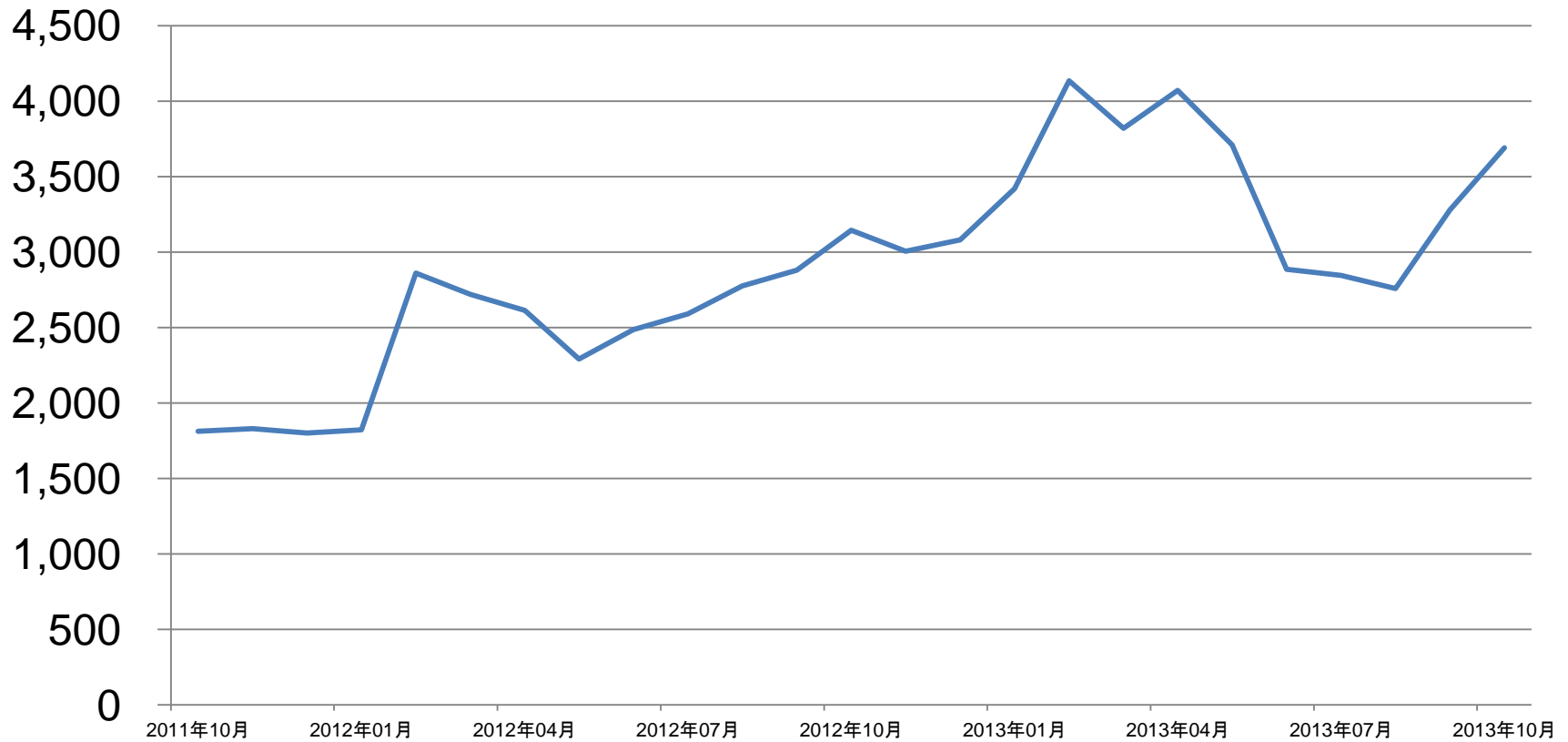
# 受注残高の月次推移

【単位：百万円】



# 株価の推移 (2011年10月～2013年10月 月終値)

【単位:円】



## 6. 質疑応答



ご清聴ありがとうございました。

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

取締役経営管理部長 伊藤 純一郎